

番号	2	事業名	雪崩対策	市町村名	小谷村	路河川名	里見	箇所名(ふりがな)	里見(さとみ)	
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○当該地域の地質は第四紀の白馬乗鞍火山の稗田山溶岩類から成り、主として凝灰角礫岩と溶岩が成層したもので、東に20°の傾斜をもっており、殆どが粗雑で固結不十分な状態で、明治4年には稗田山が大崩壊をおこしている。</p> <p>○平成12年に地元から雪崩対策事業に着手するよう要望があった。</p> <p>○地元要望に基づき、平成14年度に事業化。同年地元説明会、翌年に関係地権者に説明会を実施。</p>					②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価	
							○支障木等の伐採を行ったが、植生工により従前と同様の状況にまで回復している。		B	
事業目的	<p>○当該斜面は、白馬乗鞍スキー場及び白馬コルテナ国際スキー場の上部に位置し、平均斜度が38°と雪崩の発生源になる可能性が非常に高い区域で、スキー場下部には多くの宿泊施設及び民家が存在しており、雪崩が発生した場合は、大きな被害が想定される。</p> <p>○事業期間中の平成17年には、当初事業区域外であったCブロックにおいて雪崩が発生し、スキー場関係者が巻き込まれる災害が発生した。</p> <p>○直下集落の人家35戸等を直接保全する。</p>					③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価	
							<small>〔目的を概ね〕</small> ○維持管理は、姫川砂防事務所で行っており、点検・パトロールを適宜実施して ○地元地区との連携を密に図り、異常発生時には迅速に連絡が入る体制を整備している。		B	
事業概要	当初工期	H14~H20	費用対効果(当初時)	2.9	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	最終工期	H14~H23	費用対効果(評価時)	2.2	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源	
	当初計画内容(主な工種)	雪崩予防柵工 L=809m			620,000	310,000	62,000	223,200	24,800	
	最終事業実績(主な工種)	雪崩予防柵工 L=1075m			832,944	416,472	83,294	299,860	33,318	
事業期間の延長、短縮理由と分析	○平成17年に発生した雪崩災害に対応するため、この時の発生源対策工事を追加したため、事業期間も延長となった。					④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)		評価	
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	○上記の理由に伴い事業費も増加した。						○事業完了後は雪崩の発生がなくなり地域から高い評価を得ている。 ○地域住民の生活において安心感の向上が実感されている。		A	
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)					評価				
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>○雪崩災害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家 35戸 ・公民館 1箇所 ・村道 200m ・民宿 21軒 ・事業完了後雪崩の発生はない。 					今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	○当地区は特別豪雪地帯であり、雪崩災害への関心も高い。施設効果が上がることにより、雪崩対策事業の必要性が住民から認知されている。 ○今後も災害に強い地域づくりを推進するため、施設整備とあわせて、異常時の情報伝達体制の強化等ソフト対策の充実も図りたい。		
		間接的効果(定量的・定性的) <small>※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況</small>	<p>○生活環境・自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の安心感の向上 <p>○周辺観光地等への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキー場における雪崩災害リスク軽減による観光振興 					部局意見	○事業完了にあわせて緊急時の連絡体制も整備され、ハード・ソフト両面において安全・安心が確保されたことから事業効果は十分に発揮されている。	
						技術管理室意見	雪崩の発生が抑止され、一定の事業効果が認められる。			
					県の自己評価	○事業目的を概ね達成				